

JICA研修員の「日本の印象」

まじめでやさしい 「人柄」に好印象



～JICA中国課題別研修員のアンケート調査から～

JICA中国では、今後の研修プログラムの改善のため、研修員が日本に対してどのような印象を抱いているか、アンケート調査を行いました(2012年度に実施した課題別研修12件・114名を対象)。

「日本滞在中に強く印象に残った日本人の特徴や日本の特性について、3点挙げてください」(自由記入)との設問から、27項目の回答を抽出しました。

■圧倒的に肯定的印象!

ほとんどの研修員を感じる「約束を守る」日本人

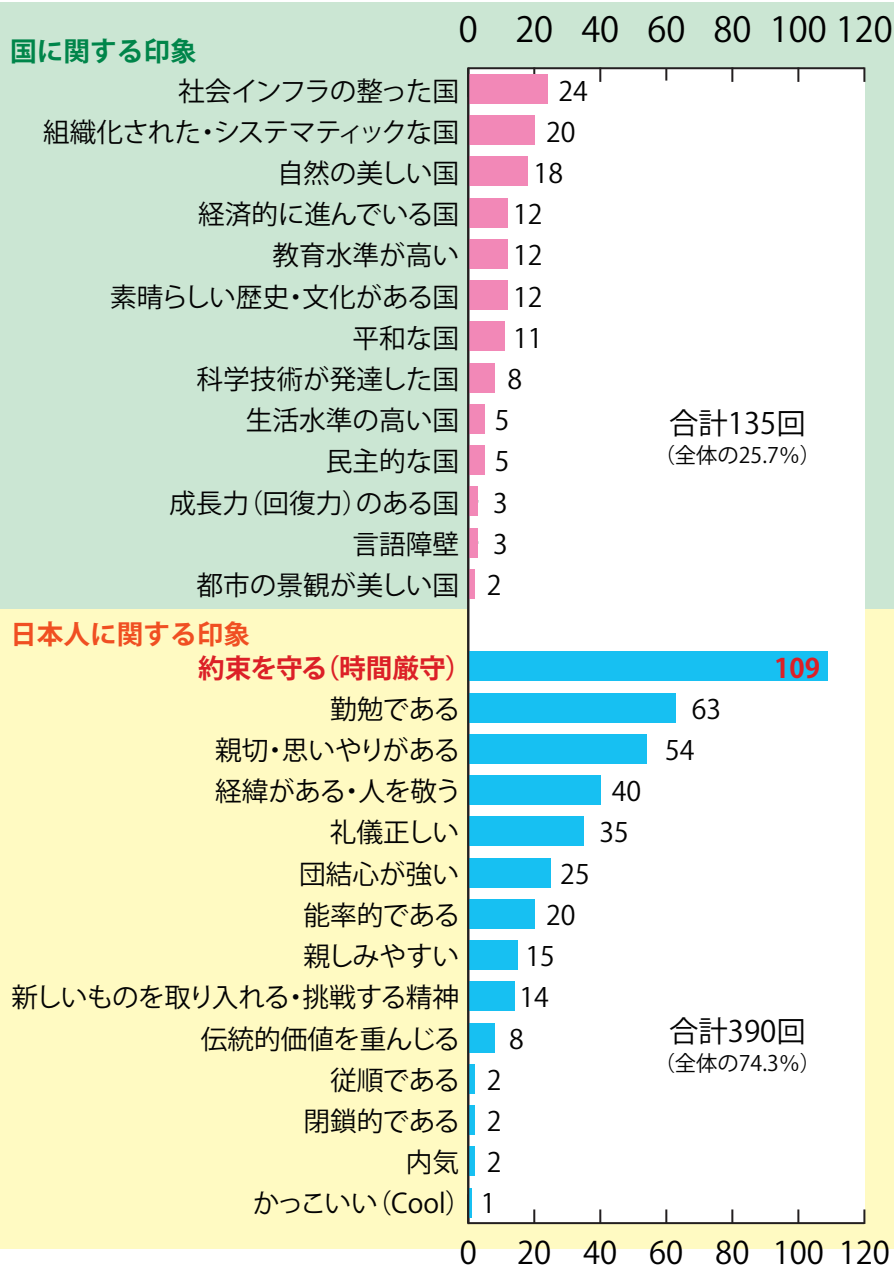
抽出された27項目のうち23項目、回答の比率では98%が「肯定的印象」との結果が得られました。

この27項目について、「国に関する印象」(13項目)と、「日本人に関する印象」(14項目)の2つに分類しました。「日本人に関する印象」のほうが多く挙げられ(390回)、その中でも「約束を守る(時間厳守)」(109回)は、ほとんどの研修員が指摘する、突出した数値となっています。次いで「勤勉である」(63回)、「親切・思いやりがある」(54回)、「敬意がある・人を敬う」(40回)という結果になっています。

「国に関する印象」(135回)では、「社会インフラが整った国」(24回)が最も多くなっています。次いで「組織化された・システマティックな」(20回)や「自然が美しい国」(18回)と続きます。



図1 研修員の感じた「日本の印象」(大分類)



JICA研修員の「日本の印象」 まじめでやさしい「人柄」に好印象

～JICA中国課題別研修員のアンケート調査から～

■印象に残る日本人の「まじめさ」「やさしさ」

全体傾向を分かりやすく整理するため、「国に関する印象」を「経済的豊かさ」「文化的豊かさ」に、「日本人に関する印象」を「まじめさ」「やさしさ」に4分類しました。この結果、「日本人に関する印象」の「まじめさ」が圧倒的に多く(275回/53.3%)、次いで「やさしさ」(109回/21.1%)という結果になっています。

■JICA研修員は「国」より「日本人」に関し高評価

研修を通じて日本人との友好関係が築かれる

JICAの調査と、日本政府観光局(JNTO)が2006年から2007年に実施した、訪日外客実態調査の「訪日後の日本のイメージ」を比較しました。

JNTO調査では、JICA調査よりも「国に関する印象」の「文化的豊かさ」や「経済的豊かさ」への回答が大幅に多いという結果になっています。一方で、「日本人に関する印象」の「やさしさ」においてはJICA調査のほうが大幅に高くなっています。

調査方法に違いがあるものの、JICA研修員は旅行者より滞在期間が長く、日本人と触れ合う機会も多いことから、「国に関する印象」よりも「日本人に関する印象」が強くなっているものと考えられます。また、JICA研修員は、研修を通じ日本人との間に緊密で友好的な関係が築かれていることもあり、高評価につながっていると推測されます。

観光等で来日する外国人と比較した結果から、研修における「日本人」への理解と好感、親日感情の醸成という目的の一つが果たされていることが分かります。

図2 研修員の感じた「日本の印象」(中分類)

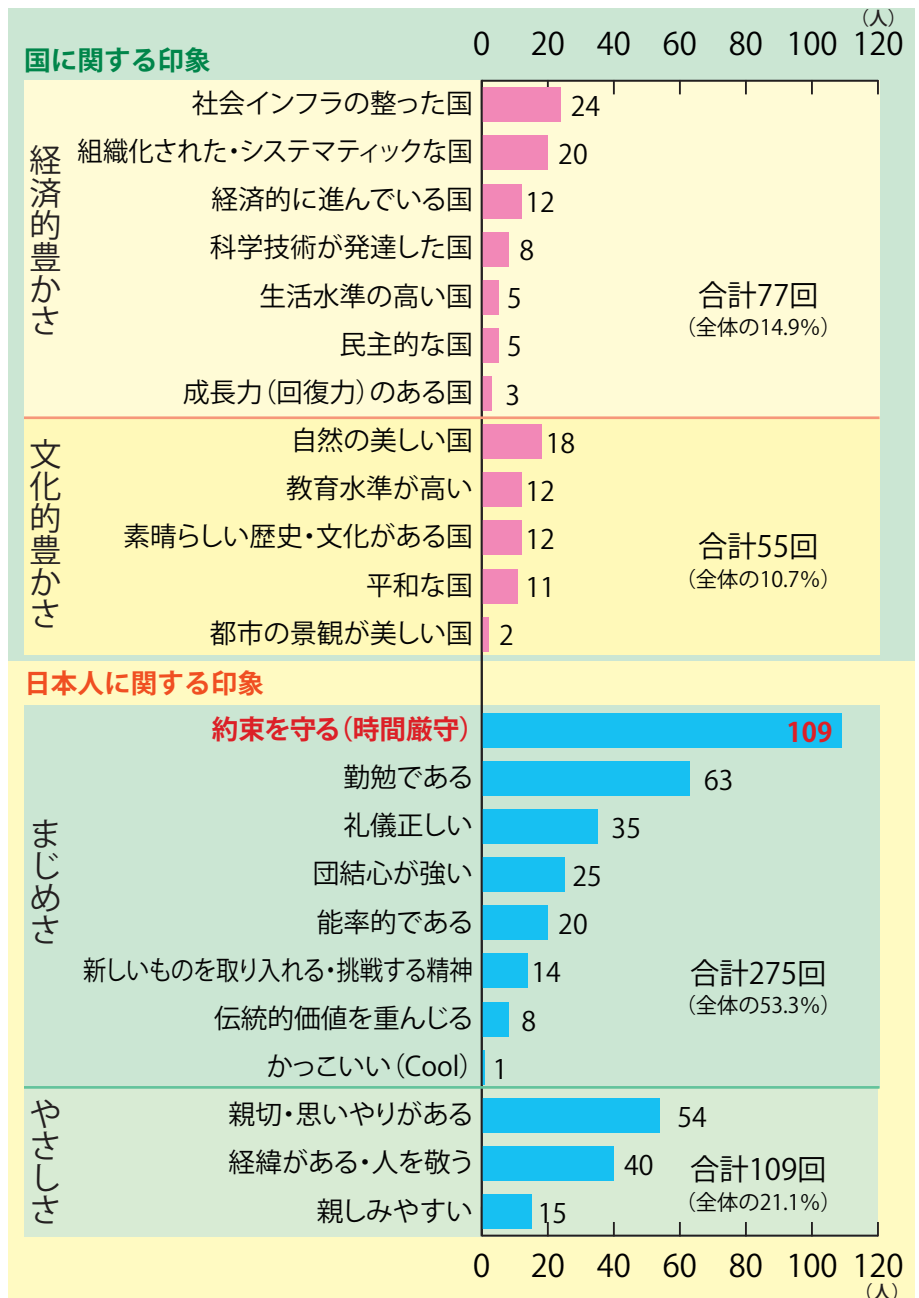


図3 JICA調査とJNTO調査における「日本の印象」の差

